官報　第八千五百四十一號　明治四十四年十二月八日　金曜日　印刷局

○勅令

朕國稅徵收法施行規則中改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治四十四年十二月七日

内閣總理大臣　侯爵西園寺公望
大藏大臣　山本達雄

勅令第二百八十二號

國稅徵收法施行規則中左ノ通改正ス

第十一條ノ二　前條ニ依リ督促ヲ受ケタル場合ニ於テハ稅金額百圓ニ付一日三錢ノ割合ヲ以テ納期限ノ翌日ヨリ稅金完納又ハ財產差押ノ日ノ前日迄ノ日數ニ依リ計算シタル延滯金ヲ徵收ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合又ハ滯納ニ付酌量スヘキ情狀アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

一　納稅告知書一通ノ稅金額二十圓未滿ナルトキ

二　納期ヲ繰上ケ徵收ヲ爲ストキ

三　納稅者ノ住所若ハ居所カ帝國內ニ在ラサル爲又ハ其ノ住所居所共ニ不明ナル爲公示送達ノ方法ニ依リ納稅ノ告知又ハ督促ヲ爲シタルトキ

督促狀ニ指定シタル期限迄ニ稅金及督促手數料ヲ完納シタルトキ又ハ前項ニ依リ計算シタル金額カ十錢未滿ナルトキハ延滯金ヲ徵收セス

第十二條第十七條及第二十九條中「督促手數料」ノ下ニ「延滯金」ヲ加フ

第十六條　收稅官吏財產ヲ差押ヘタルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル差押調書ヲ作リ之ニ署名捺印スヘシ

一　滯納者ノ氏名及住所若ハ居所

二　差押財產ノ名稱、數量、性質、所在其ノ他重要ナル事項

三　差押ノ事由

四　調書ヲ作リタル場所、年月日

國稅徵收法第二十一條ノ場合ニ於テハ收稅官吏ハ立會人ト共ニ差押調書ニ署名捺印スヘシ但シ立會人ニ於テ署名捺印ヲ拒ミ又ハ署名捺印スルコト能ハサルトキハ其ノ理由ヲ附記スヘシ

收稅官吏差押調書ヲ作リタルトキハ其ノ謄本ヲ滯納者及立會人ニ交付スヘシ但シ債權及所有權以外ノ財產權ノミヲ差押ヘタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十九條中左ノ如ク改ム

二　公賣財產ノ名稱、數量、性質、所在其ノ他重要ナル事項

附　則

本令中延滯金ニ關スル規定ハ本令施行後ニ於テ納期ノ開始スル明治四十四年分租稅ヨリ之ヲ適用ス

○省令

大藏省令第四十一號

國稅徵收法施行細則中左ノ通改正ス

第二條ノ二　稅務署長ハ納稅人又ハ市町村ノ爲便宜ト認ムル納付場所ヲ指定スヘシ

納入又ハ市町村ハ指定ノ納付場所以外ノ地ニ於テ納稅スルヲ便宜トスルトキハ稅務署ニ申告シテ納付場所ノ變更ヲ求ムルコトヲ得

前二項ニ依リ市町村ニ對シ出納區域內ニ在ラサル金庫ヲ指定シタルトキハ之ヲ其ノ金庫ニ通知スヘシ

第六條ノ一　稅務署長稅金納付ノ督促ヲ爲ストキハ第六號書式ノ督促狀ヲ發スヘシ但シ延滯金ヲ徵收スヘキモノニ付テハ第七號書式ニ依ルヘシ

第六條ノ二　前條ノ督促ヲ爲ス場合ニ於テ金庫ニ納付セシムルトキハ左ノ各號ニ依ルヘシ

一　市町村ノ納稅告知書ヲ發シタル稅金ニ付テハ第八號書式第九號書式ノ納付書ヲ添附スヘシ

二　收稅官吏ノ納稅告知書ヲ發シタル稅金ニ付テハ第九號書式ノ納付書ヲ添附スヘシ

第六條ノ三　納稅人督促ヲ受ケ稅金及督促手數料ヲ金庫ニ納付スヘキ場合ニ

本文
許可 8541 号

第一號書式　用紙縦長　三枚綴

書

（側面）

明治何年何月何日　何税務署長
官　氏　名　㊞

備考
一　同一納期ノ租及税ヲ数地ニ渉ス場合ニ於テハ一人別納額ノ租及税ヲ数地ニ渉ス場合ニ於テハ一人別納額ノ左傍ニ記スルモノトス
二　一人別納額ノ租及税ヲ数地ニ渉ス場合ニ於テハ一人別納額ノ左傍ニ記スルモノトス
三　金額ノ上ニ朱ヲ以テ抹消シタルモノハ無効トス

第二號書式　用紙縦長　三枚綴

書　通知

第何號	何年度	何郡市何町村大字何何番地	何税務署
大蔵省主管	租	税 何	税（円）

一金何程　何年何期分　何税（目）

右何年何月何日限何金（又ハ何税務署）納付

明治何年何月何日　何税務署長
官　氏　名　㊞

（側面）

書　告知

第何號	何年度	何郡市何町村大字何何番地	何税務署
大蔵省主管	租	税 何	税（円）

一金何程　何年何期分　何税（目）

右何年何月何日限何金（又ハ何税務署）納付

明治何年何月何日　何税務署長
官　氏　名　㊞

（側面）

書　領収

第何號	何年度	何郡市何町村大字何何番地	何税務署
大蔵省主管	租	税 何	税（円）

一金何程　何年何期分　何税（目）

明治何年何月何日領収

（領収者）氏名　㊞

備考
一　市町村ニ於テハ大字何何番地ノ次ニ何市何町村ヲ記入スルモノトス
二　金額ハ其ノ上ニ朱ヲ以テ抹消シタルモノハ無効トス
三　一人別納額ノ租及税ヲ数地ニ渉ス場合ニ於テハ一人別納額ノ左傍ニ記スルモノトス
四　書式ニ依リ難キ場合ニ於テハ適宜ノ書式ヲ設ケ又ハ適宜ノ書式ヲ用ユルモ妨ケナシ
五　数地ニ渉ル場合ニ於テハ其ノ地ノ税務署ニ於テ取扱フ税ノ分ヲ記載スルモノトス

第三號書式　用紙縦長　三枚綴

書　告知

第何號	何年度	何郡市何町村大字何何番地	何税務署
大蔵省主管	租	税 何	税（円）

一金何程　何年何期分　何税（目）

右何年何月何日限何金（又ハ何税務署）納付

明治何年何月何日　何税務署長
官　氏　名　㊞

（側面）

書　通知

第何號	何年度	何郡市何町村大字何何番地	何税務署
大蔵省主管	租	税 何	税（円）

一金何程　何年何期分　何税（目）

明治何年何月何日　何税務署長
官　氏　名　㊞

（側面）

書　領収

第何號	何年度	何郡市何町村大字何何番地	何税務署
大蔵省主管	租	税 何	税（円）

一金何程　何年何期分　何税（目）

明治何年何月何日領収

（領収者）氏名　㊞

備考
一　市町村ニ於テハ大字何何番地ノ次ニ何市何町村ヲ記入スルモノトス
二　金額ハ其ノ上ニ朱ヲ以テ抹消シタルモノハ無効トス
三　一人別納額ノ租及税ヲ数地ニ渉ス場合ニ於テハ一人別納額ノ左傍ニ記スルモノトス
四　書式ニ依リ難キ場合ニ於テハ適宜ノ書式ヲ設ケ又ハ適宜ノ書式ヲ用ユルモ妨ケナシ
五　数地ニ渉ル場合ニ於テハ其ノ地ノ税務署ニ於テ取扱フ税ノ分ヲ記載スルモノトス

第四號書式　用紙縦長　三枚綴

書　付送

第何號	何年度	何市町村	何税務署
大蔵省主管	租	税 何	税（円）

一金何程　何年何期分　何税（目）

右送付候也

明治何年何月何日

書　請入納

第何號	何年度	何市町村	何税務署
大蔵省主管	租	税 何	税（円）

一金何程　何年何期分　何税（目）

明治何年何月何日納入済

何金庫　㊞

書　領収

第何號	何年度	何市町村	何税務署
大蔵省主管	租	税 何	税（円）

一金何程　何年何期分　何税（目）

明治何年何月何日領収

何金庫　㊞

備考
一　出同時ニ納入スル数税ニ渉ル場合ニ於テハ一人別納額ノ左傍ニ記スルモノトス
二　一人別納額ノ租及税ヲ数地ニ渉ス場合ニ於テハ一人別納額ノ左傍ニ記スルモノトス
三　金額ハ其ノ上ニ朱ヲ以テ抹消シタルモノハ無効トス

第 8541 号　本文

第五號書式

明治何年何月何日　何都市町村長　何某　印

何税務署長官氏名宛

何年度第何期何税目滞納報告書

税額	事由	住所	氏名
一、〇〇〇	何々	何町村大字何何番地	何某
一、〇〇〇	何々	何何郡市何町村大字何何番地	何某
計　二、〇〇〇			

備考

一　加電燈税ハ分テ税額ヲ加税額ト三圓ニ區劃シ記載スルモノトス

第六號書式

督促状	第何號	何部市何町村大字何何番地	
	何年度	租税	何税（円）
	一金何程	何年何期分	
	一金拾錢	何税（目） 督促手數料	

右何月何日限何金圓（又ハ何税額）納付スヘシ若シ其ノ期限ヲ過キ尚ホサルトキハ直ニ財産差押ノ處分ヲ爲スヘシ

明治何年何月何日　何税務署長　官氏名　印

第七號書式

督促状	第何號	何部市何町村大字何何番地	
	何年度	租税	何税（円）
	一金何程	何年何期分	
	一金拾錢	何税（目） 督促手數料	
	一日期後ノ翌日ヨリ	延滞金	

右何月何日限金圓（又ハ何税額）納付スヘシ若シ其ノ期限ヲ過キ尚ホサルトキハ督促手數料ノ外延滞金ヲ領収スルトキハ明治二十六年大蔵省令第三十二號ノ現金領収證書ヲ發行スルコトヲ要ス

明治何年何月何日　何税務署長　官氏名　印

備考

一　同一納期ノ加租及雜地租ハ之ヲ合記スルモノトス

二　出納區域内ニ在ラサル金庫ニ納付セシムルトキハ納付書中ニ何金庫ニ納付スルコトヲ記載スヘシ

三　收税官吏ハ納税者ヨリ税金ヲ領収スルトキハ明治二十六年大蔵省令第三十二號ノ現金領収證書ヲ發行スルコトヲ要ス

四　收税官吏ハ領収ヲ爲スヘキ大蔵省式納付書中餘白ニ領収濟年月日ヲ記入シ檢印ヲ爲シ領収濟通知書ヲ省略スルコトヲ得

第八號書式

書付	何年度	何部市何町村大字何何番地	
	大蔵省主管	何税務署	租税	何税（円）
	一金何程	何年何期分	
		何税（目）	

明治何年何月何日

通知書	何年度	何部市何町村大字何何番地	
	大蔵省主管	何税務署	租税	何税（円）
	一金何程	何年何期分	
		何税（目）	

明治何年何月何日領収　何金庫　印

（物品税納付）

備考

一　同一納期ノ加租及雜地租ハ之ヲ合記スルモノトス

二　「金庫指定ノ無キ地ハ何税務署ト記スルモノトス

三　收税官吏ハ納税者ヨリ税金ヲ領収スルトキハ明治二十六年大蔵省令第三十二號ノ現金領収證書ヲ發行スルコトヲ要ス

四　收税官吏ハ領収ヲ爲スヘキ大蔵省式納付書中餘白ニ領収濟年月日ヲ記入シ檢印ヲ爲シ領収濟通知書ヲ省略スルコトヲ得

第九號書式

用紙寸法　縦三寸五分　横二寸六分

書付	何年度	何部市何町村大字何何番地	
	大蔵省主管	何税務署	雜収入	雜収入済額	計	収入手數料
	一金何程		手數料			
	一金何程		延滞金			

明治何年何月何日

通知書	何年度	何部市何町村大字何何番地	
	大蔵省主管	何税務署	雜収入	雜収入済額	計	収入手數料
	一金何程		手數料			
	一金何程		延滞金			

明治何年何月何日領収　何金庫　印

（物品税納付）

備考

一　出納區域内ニ在ラサル金庫ニ納付セシムルトキハ納付書中ニ「何金庫ニ納付スルコトヲ記載スヘシ

二　承認ヲ受ケ收税官吏ニ代リ税金ヲ領収スル者ハ其ノ納付書ニ「何税務署印ヲ押捺シ且署名ニ代理者ヲ記スルモノトス

三　收税官吏ハ納税者ヨリ督促手數料ヲ領収スルトキハ明治二十六年大蔵省令第三十二號ノ現金領収證書ヲ發行スルコトヲ要ス

四　收税官吏ハ領収ヲ爲スヘキ大蔵省式納付書中餘白ニ領収濟年月日ヲ記入シ檢印ヲ爲シ領収濟通知書ヲ省略スルコトヲ得

第十號書式

書證	何年度	何部市何町村大字何何番地	
	一金何程	手數料	
	一金何程	延滞金	

明治何年何月何日領収　何金庫（又ハ收入官吏）　官氏名　印

（物品税納付）

備考

一　出納區域内ニ在ラサル金庫ニ納付セシムルトキハ納付書中ニ「何金庫ニ納付スルコトヲ記載スヘシ

二　收税官吏ハ納税者ヨリ督促手數料ヲ領収スルトキハ明治二十六年大蔵省令第三十二號ノ現金領収證書ヲ發行スルコトヲ要ス

三　收税官吏ハ納税者ヨリ税金ヲ領収スルトキハ明治二十六年大蔵省令第三十二號ノ現金領収證書ヲ發行スルコトヲ要ス

四　督促手數料延滞金ニシテ租税ト所屬年度ノ同一ナルモノハ第八號書式納付書中ニ「税目」及金額ヲ記載セス別ニ本號式ノ納付書ヲ作成シ納付セシムルコトヲ得

第十一號書式

債權差押通知書

何庁属何郡市何町村大字何何番地

債權者　何某

何庁属何郡市何町村大字何何番地

債務者　何某

有債權者ノ滯納ニ係ル何税金何程督促手數料延滞金及滯納處分費ノ爲メ明治何年何月何日其債務者ヨリ交納ノ金何程ヲ差押フルニ付明治何年何月何日記ニ此ノ通知ヲ交付タルニ依リ交納ノ金何程（又ハ金何程ノ内金何程）

第十一號書式

何々稟請書進達書

一　稟請地番ノ表示

（各種ノ稟請書ニ於テ其ノ他必要ナル事項）

右進達候也

何年何月何日

何役所殿

官氏名印

第十二號書式

差押調書

何県何郡何町村大字何番地

滞納者　何某

一　差押物件ノ表示

（各種ノ差押ニ於テ其ノ他必要ナル事項）

何年何月何日何時何分何役所ニ於テ何郡何町村大字何番地何某ノ滞納金何程ノ為メ差押ヘタル処何某又ハ其ノ代人何某出頭セサルニ付立会ノ上前記ノ通差押ヘタル也

何役所

官氏名印

立会人　何某㊞

備考

一　滞納者其ノ他立会人ヲ得サル場合ニ於テハ立会人ニ代ルヘキ者ノ署名捺印ヲ為サシムルコト

第十三號書式

送達書

送達シタル年月日	
所名及氏名ノ住所又ハ居所	
受取人ノ署名捺印	
送達シタル年月日	
受取人ヲ得サル又ハ受取ヲ拒ミタル事由	
送達ヲ為シタル者ノ官氏名印	

右ノ通送達候也

何某㊞

第十四號書式

計算書

歳入			歳出		
種目	金額		種目	金額	
過誤納還付金	一	〇〇〇	官庁手数料		一〇〇
何々公費代	三	〇〇〇	送達費用		三〇〇
何々公費代	一〇	〇〇〇	滞納処分費		三〇〇
			参考人（鑑定人）日当	一〇	〇〇
			報償金	三	〇〇
			滞納者ニ対スル還付金	五	〇〇
			滞納者ニ対スル還付加算金	五	〇〇
計	五	〇〇〇	計	五	〇〇

右ノ通候也

明治何年何月何日

何役所長

官氏名印

○告示

司法省告示第七十七號

明治四十三年司法省告示第六十三號中拓殖債券ノ下ニ農工債券ヲ加フ

明治四十四年十二月八日　司法大臣　松田正久

文部省告示第三百五十六號

小學校令施行用圖書中定價ヲ定ムルコト左ノ如シ

書名	冊数	定價
尋常小學讀本巻一	一	金十二錢
尋常小學讀本巻二	一	金十二錢
尋常小學讀本巻三	一	金十三錢

小學校令施行規則第二十四條ニ依リ翻刻發行ヲ許可スル小學校教科用圖書ノ翻刻發行ヲ許可スル件ヲ廢止ス

明治四十四年十二月八日　文部大臣　長谷場純孝

農商務省告示第五百七十五號

森林法ニ依リ左記ノ保安林ヲ解除ス

明治四十四年十二月八日　農商務大臣　男爵牧野伸顯

所在	種類	面積
長崎縣下縣社久宿八大宮宇木地内	水源涵養保安林	二町八反歩

遞信省告示第千四百五十三號

本邇十一月十日ヨリ左記郵便局ヲ改稱ス

明治四十四年十二月八日　遞信大臣　伯爵林董

現名称	改称
西浦郵便局	浦郵便局

正誤

頁	段	行	誤	正
二十九	中	一七	七七	七七
二十九	中	一七	入浜	入浜
二十九	中	一七	町八	町八
二十九	中	一七	浜町	浜町
二十九	中	一七	八一〇	八一〇
二十九	中	一七	錦ノ	錦ノ
二十九	中	一七	入浜	入浜
二十九	中	一七	町八	町八
二十九	中	一七	浜町	浜町
二十九	中	一七	八一〇	八一〇
二十九	中	一七	錦ノ	錦ノ
二十九	中	一七	入浜	入浜
二十九	中	一七	町八	町八
二十九	中	一七	浜町	浜町
二十九	中	一七	八一〇	八一〇
二十九	中	一七	錦ノ	錦ノ

農商務省告示第五百七十六號

明治四十四年十二月八日ヨリ左記ノ鑛業用濫ノ爆開ヲ以テ之ヲ許可ス

明治四十四年十二月八日　農商務大臣　男爵牧野伸顯

○叙任及辭令

○明治四十四年十二月七日

（各通）

（以上十二月八日　農商務省）

（以上十二月八日　遞信省）

第 8541 号　本文

○官廳事項

○彙報

○官廷錄事

○叙任及辭令

○雜報

第854141号　本文

○帝室博物館来観人員

東京帝室博物館ハ総数一万六千五百十人内大人一万三千二百十人小児三千三百人ニシテ有料ハ総数一万六千二百十人内大人一万三千二百十人小児三千人ニシテ無料ハ総数三百人内大人ニシテ学校生徒ノ参観ニ係ル

○帝室博物館来観人員

東京帝室博物館ハ総数一万六千五百十人内大人一万三千二百十人小児三千人ニシテ有料ハ総数一万六千二百十人内大人一万三千二百十人小児三千人ニシテ無料ハ総数三百人内大人ニシテ学校生徒ノ参観ニ係ル

○帝室博物館来観人員（金曜日曜祭日）

東京帝室博物館ハ総数一万六千五百十人内大人一万三千二百十人小児三千人ニシテ有料ハ総数一万六千二百十人内大人一万三千二百十人小児三千人ニシテ無料ハ総数三百人内大人ニシテ学校生徒ノ参観ニ係ル

○帝室博物館来観人員（金曜日曜祭日）

東京帝室博物館ハ総数一万六千五百十人内大人一万三千二百十人小児三千人ニシテ有料ハ総数一万六千二百十人内大人一万三千二百十人小児三千人ニシテ無料ハ総数三百人内大人ニシテ学校生徒ノ参観ニ係ル

○帝室博物館来観人員

第 8541 号 本文

○全國天氣概況

自十二月七日午後六時至十二月八日午後六時二十四時間ノ天氣狀況

第一區　北東ノ風、概ネ曇ナレトモ雨模樣アリ
第二區　北西ノ風、概ネ曇ナレトモ雨模樣アリ
第三區　同シ
第四區　同シ
第五區　南西ノ風、概ネ曇
第六區　同シ
第七區　西南ノ風、概ネ曇ナレトモ雨模樣アリ
第八區　第二區ニ同シ
第九區　南西ノ風、概ネ曇ナレトモ雪模樣アリ
第十區　第二區ニ同シ

○東京氣象

十二月六日

氣壓（海面ノ高サニ減ジタル數）

平均	七五七・七粍
最高	七六〇度（高シ）
最低	一二・六度（高シ）
平均	二・八度
最大速度	九・二米
風向	西北西
最多方向	西北西
最大	二・四米
平均	一・四米
雨量	六・〇粍
日照時間	二・九時
雪	二・四粍
雹	一粍
霰	一時間最大量
霧	二・四粍
雷	朝霧雹アリ、月光環現ル

氣溫

平均	七・〇度
最高	一二・八度
最低	二・四度
平均	六・四度
最大	四・七粍
最小	〇・〇

○地震　東京外十四箇所ノ地震報告左ノ如シ

東京　十二月六日
橫濱　同
宇都宮　同
布哇　同
筑波　同
熊谷　同
水戸　同
横須賀　同
沼津　同
金山　同
伏木　同
足尾　同
金華山　同
甲府　同
前橋　同

午後五時三十一分四十五秒　強（震度弱キ方）性質急、上下動アリ
午後五時三十一分四十八秒　強（震度弱キ方）性質急、上下動アリ
午後五時三十一分十秒　弱　性質急
午後五時三十一分二十五秒　弱　地鳴アリ、家屋動搖ス
午後五時三十一分四十三秒　弱　上下動アリ、家屋動搖ス
午後五時三十一分五十五秒　弱　上下動アリ、家屋動搖ス
午後五時三十一分五十九秒　弱　家屋動搖ス
午後五時三十二分二十一秒　弱　性質急、家屋動搖ス
午後五時三十二分四十五秒　弱　震動時間長シ
午後五時三十六分零秒　弱　家屋動搖ス
午後五時三十六分零秒　弱　性質急
午後五時三十一分二十秒　弱（震度弱キ方）家屋動搖ス
午後五時三十一分三十八秒　弱（震度弱キ方）家屋動搖ス

備考　本月二日第八千五百三十六號官報掲載地震報告中東京ノ宮津ノ誤

○東京地震報告

發震時　十二月六日午後五時三十一分四十五秒

震動時間
- 水平動　五分三十七秒
- 上下動　三分四十二秒

最大水平動　方向　東北東ニ西南西（北七十度東）　振動期　〇・二秒　震度　強（震度弱キ方）　性質　急

最大上下動　方向　全振幅　一・八粍　振動期　一・〇秒　震度　強（震度弱キ方）　性質　急

人身ノ感覺　此地震ハ前記十四秒時間ノ初期微動ヲ經テ東西ノ方向ニ於テ最モ大ナル震動ヲ示セルモ其後ニ於テハ緩慢ナル終期微動ト爲リ次第ニ靜止セリ

初期微動　十四秒
主要動　三十九秒
終期微動　四分四十四秒
初期微動　十八秒
主要動　二十四秒
終期微動　三分零秒

（以上中央氣象臺）

○天氣概況

一昨日カロリン群島附近ニ現レタル颱風ハ西北西ニ進行シ今朝八重山群島ノ南東方約百二十里ノ海上ニ在リ又日加瀬附近ヨリ來リシ低氣壓ハ東方ニ來リ今朝遠州流域ノ北部ニ在リ而シテ高氣壓ハ長江流域ヨリ黃海ニ進ム又氣壓ノ傾斜ハ北海道方面ニ最モ峻急ニシテ本邦北部ニテハ北西ノ信風強ク樺太ヨリ奥羽ニ至ル日本海岸ニテハ風雪強ク奥羽以南九州ニ至ル日本海岸ニテモ概シテ曇天ニシテ加越地方ニテハ降雨スト雖モ九州南部ヨリ北海道ニ至ル太平洋海岸ニテハ天氣晴朗ニシテ氣溫著シク降リ冬季ノ常態ニ復スルニ至レリ

○土地收用公告

明治四十四年三月三十日內閣ニ於テ認定公告相成タル鐵道院ノ起業ニ係ル線路變更及增設竝停車場新設ニ要スル收用土地ノ細目左ノ如シ

明治四十四年十二月八日

神奈川縣知事　男爵　周布公平

土地細目

神奈川縣橫濱市久保町字道上五七四、三四五五番同字同五七六ノ一、四三五番

正誤

昨七日本欄一八四頁下段來行松屋ノ上ノ八行（誤植）

○廣告

○登記公告方

明治四十五年中當區裁判所竝ニ管內各出張所取扱登記事項公告ノ新聞紙ハ神奈川縣橫濱市ニ於テ發行スル橫濱貿易新報及橫濱每朝新報ヲ選定ス

明治四十四年十二月

橫濱區裁判所
小田原區裁判所
高松區裁判所
三本松區裁判所

明治四十五年中當區裁判所竝ニ管內各出張所取扱登記事項公告ノ新聞紙ハ神奈川縣橫濱市ニ於テ發行スル橫濱每朝新報及橫濱貿易新報ヲ選定ス

明治四十四年十二月

橫濱區裁判所
小田原區裁判所
高松區裁判所
三本松區裁判所

○檢定教科用圖書

師範學校讀物界教科書
明治四十四年十一月二十八日訂正再版發行
著作者　奈良縣平民　和田　八重造
發行者　東京府東京市京橋區銀座一丁目二十二番地　大日本圖書株式會社
右明治四十四年十二月七日檢定ス
定價金五十錢

○檢定教科用圖書

師範學校讀物界教科用
明治四十四年十一月二十八日訂正再版發行
著作者　奈良縣平民　和田　八重造
發行者　東京府東京市京橋區銀座一丁目二十二番地　大日本圖書株式會社
右明治四十四年十二月七日檢定ス
金一册
定價金五十錢

○生徒募集

明治四十五年四月入學セシムヘキ研究科生徒若干人ヲ募集ス其要項左ノ如シ

明治四十四年十二月

東京高等師範學校

一　研究學科目　修身、教育、國語、英語ノ一科目若クハ二科目ヲ研究セントスル者ニ限ル
二　學資　私費ヲ以テ修學スル志願者ノ員數ニ充タサルトキハ科目ニ依リ之ヲ置カサルコトアルヘシ
三　入學願書　明治四十五年一月三十一日マテニ入學願書ニ履歷書及身體檢查書ヲ添ヘ地方廳ニ差出スヘシ
本校本科ニ選修科、獨料並ニ費用ヲ要セス
四　志願者資格　高等師範學校、中學師範學科、初等中學師範學科ヲ卒業又ハ帝國大學、各官立及縣立高等（師範學校卒業生ニ限ル）學校ニ研究學科目トシテ師範學校、中學校、高等女學校ノ教員免許狀ヲ有セサル學生ニシテ本校ノ入學試驗ニ合格シタル者
五　官職ニ在ル者ハ所屬長官ノ承認書ヲ入學願書ニ添付スヘシ
（備考）入學ノ上ハ必ス一學年間ハ在學スルヲ要ス

○生徒募集

明治四十五年四月入學セシムヘキ研究科生徒若干人ヲ募集ス其要項左ノ如シ

明治四十四年十二月

東京高等師範學校

一　研究學科目　修身、教育、國語、英語ノ一科目若クハ二科目ヲ研究セントスル者ニ限ル
二　學資　私費ヲ以テ修學スル志願者ノ員數ニ充タサルトキハ科目ニ依リ之ヲ置カサルコトアルヘシ
三　入學願書　明治四十五年一月三十一日マテニ入學願書ニ履歷書及身體檢查書ヲ添ヘ地方廳ニ差出スヘシ
本校本科ニ選修科、獨料並ニ費用ヲ要セス
四　志願者資格　高等師範學校、中學師範學科、初等中學師範學科ヲ卒業又ハ帝國大學、各官立及縣立高等（師範學校卒業生ニ限ル）學校ニ研究學科目トシテ師範學校、中學校、高等女學校ノ教員免許狀ヲ有セサル學生ニシテ本校ノ入學試驗ニ合格シタル者
五　官職ニ在ル者ハ所屬長官ノ承認書ヲ入學願書ニ添付スヘシ
（備考）入學ノ上ハ必ス一學年間ハ在學スルヲ要ス

○東京美術學校

明治四十五年四月入學セシムヘキ本校第一學年生徒豫科、林學科、鑛學學科選シテ約九十人ヲ募集ス其要項左ノ如シ

明治四十四年十二月

東京美術學校

入學志願者資格
一　中學校ヲ卒業シタル者
甲種農業學校ヲ卒業シタル者
二　專門學校入學者檢定規程第八條第一號ノ指定ヲ受ケタル者
三　入學試驗科目　國語及漢文、英語、數學、物理及化學、動物及植物トシ中學校卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行フ
四　入學試驗場及口頭試問ヲ行フ期日及場所　明治四十五年三月二十一日ヨリ盛岡（本校）及東京、京都ノ三箇所ニ於テ施行ス
別ニ體格檢查及口頭試問ヲ行フ
入學試驗期日及場所ノ通知　試驗物所ニ出願者ニハ通知ス（入學志願者ハ本校ニ到達スヘキ日取ヲ以テ差出スヘシ）
出願期日及其他　明治四十五年三月十日マテニ本校ニ到達スヘキ樣差出スヘシ
出願手續　不備ニシテ受驗不能ノ場合ニ於テハ何等ノ責ヲ負ハス
入學願書（第一號書式）
履歷書（第二號書式）
學校長ノ卒業證明書（第三號書式）又ハ專門學校入學試驗檢定合格證明書（第四號書式）
明書ヲ差出スヘシ
卒業確定ノ上直ニ卒業證書ヲ差出スヘシ
入學願書ハ本校所定ノ用紙ヲ以テ作リ本人自筆ニテ記入シ戶主及保證人ノ連署ヲ要ス
履歷書ハ本校所定ノ用紙ヲ以テ作リ本人自筆ニテ記入スヘシ
入學願書ニハ一寸四方ノ寫眞ヲ貼附スヘシ
入學志願者ハ入學願書ニ檢定料金一圓ヲ添ヘ地方廳ニ於テ施行スル檢定ヲ受ケ合格證明書ヲ得テ本校ニ出願スヘシ
檢定料ハ一旦納付シタル後ハ返付セス
檢定ニ關スル事項ハ本校ニ申込ムヘシ
入學別ニ體格檢查及口頭試問ヲ行フ
入學試驗期日及場所　明治四十五年三月二十一日ヨリ盛岡（本校）及東京、京都ノ三箇所ニ於テ施行ス
入學志願者ハ入學願書ニ檢定合格證明書ヲ添ヘ地方廳ニ於テ施行スル檢定ヲ受ケタル者
入學試驗科目　國語及漢文、英語、數學、物理及化學、動物及植物トシ中學校卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行フ
入學試驗場及口頭試問ヲ行フ期日及場所　明治四十五年三月二十一日ヨリ盛岡（本校）及東京、京都ノ三箇所ニ於テ施行ス
入學志願者ハ入學願書ニ檢定合格證明書ヲ添ヘ地方廳ニ於テ施行スル檢定ヲ受ケタル者
入學試驗科目　國語及漢文、英語、數學、物理及化學、動物及植物トシ中學校卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行フ
入學試驗場及口頭試問ヲ行フ期日及場所　明治四十五年三月二十一日ヨリ盛岡（本校）及東京、京都ノ三箇所ニ於テ施行ス
入學志願者ハ入學願書ニ檢定合格證明書ヲ添ヘ地方廳ニ於テ施行スル檢定ヲ受ケタル者

入學志願者資格
一　中學校ヲ卒業シタル者
甲種農業學校ヲ卒業シタル者
二　專門學校入學者檢定規程第八條第一號ノ指定ヲ受ケタル者
三　入學試驗科目　國語及漢文、英語、數學、物理及化學、動物及植物トシ中學校卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行フ
四　入學試驗場及口頭試問ヲ行フ期日及場所　明治四十五年三月二十一日ヨリ盛岡（本校）及東京、京都ノ三箇所ニ於テ施行ス
別ニ體格檢查及口頭試問ヲ行フ
入學試驗期日及場所ノ通知　試驗物所ニ出願者ニハ通知ス（入學志願者ハ本校ニ到達スヘキ日取ヲ以テ差出スヘシ）
出願期日及其他　明治四十五年三月十日マテニ本校ニ到達スヘキ樣差出スヘシ
出願手續　不備ニシテ受驗不能ノ場合ニ於テハ何等ノ責ヲ負ハス
入學願書（第一號書式）
履歷書（第二號書式）
學校長ノ卒業證明書（第三號書式）又ハ專門學校入學試驗檢定合格證明書（第四號書式）
明書ヲ差出スヘシ
卒業確定ノ上直ニ卒業證書ヲ差出スヘシ
入學願書ハ本校所定ノ用紙ヲ以テ作リ本人自筆ニテ記入シ戶主及保證人ノ連署ヲ要ス
履歷書ハ本校所定ノ用紙ヲ以テ作リ本人自筆ニテ記入スヘシ
入學志願者ハ入學願書ニ檢定料金一圓ヲ添ヘ地方廳ニ於テ施行スル檢定ヲ受ケ合格證明書ヲ得テ本校ニ出願スヘシ
檢定料ハ一旦納付シタル後ハ返付セス
檢定ニ關スル事項ハ本校ニ申込ムヘシ

一何年何月何日何學校ニ於テ專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定合格證ヲ受ク
一何年何月何日何學校ニ於テ何資格ヲ以テ卒業（又ハ在學）證明書ヲ受ク
第三號書式
卒業（又ハ在學）證明書
族籍
氏名
右者何年何月本校第何學年ニ入學何年何月全科卒業（又ハ豫科ヨリ見込ノ者ナルコトヲ證明ス
明治　年　月　日　何學校長　氏名　㊞
第四號書式
試驗合格證明書
族籍
氏名
右者第何回入學者檢定規程ニ依リ何年何月何日本校ニ於テ施行シタル試驗檢定ニ合格シタル旨證明ス
明治　年　月　日　何學校長　氏名　㊞

學業
一何年何月ヨリ何年何月マテ　何地何學校ニ入リ又ハ某ニ就キ何學業
入學試驗日割
一何年何月何學校ニ於テ何資格ヲ以テ入學試驗ヲ施行ス
三月二十一日　體格檢查　午前八時ヨリ
同　二十二日　物理及化學　自午前八時至午前十時
同　二十三日　數學　自午前十時至十二時
口頭試問　午前八時ヨリ
英語　自午前十時至十二時
國語漢文　自午後一時至午後四時
動物及植物　自午後一時至午後三時
今般本校圖畫師範科生徒約二十人ヲ募集ス詳細ハ左記各項及地方廳ニ就キ承知スヘシ尙ホ本校規則書入用若干部ヲ送ルヘシ
入學期限　明治四十五年三月一日ヨリ同月十四日マテニ本校ニ到著スル樣地方廳ヨリ回送スルコト
明治四十四年十二月
東京美術學校

許可 8541 号 大正

本文 第8541号

○入札拂下公告中訂正

明治四十四年十二月八日

東京大林區署

○秩野震拂

○商業登記

帝國總領事館

在清國上海

有明治四十四年十二月二十五日限左ノ如ク登記ヲ申請シタリ

公告ス

明治四十四年十二月二十五日

帝國總領事　有吉明

一　明治四十四年十一月二十日左ノ通登記ヲ申請シタリ

公告ス

明治四十四年十二月二日

帝國總領事　有吉明

一　屯數表ノ通リ

英商怡和洋行

英國人

英國人

英國人

第8541号 本文

第 85411 号 本文

第 85411 号 本文

○行旅死亡人

千葉縣葛飾郡十村役場

○廣告

○前錄

第 8541 号　本文

官報第八千五百四十一號附錄

明治四十四年十二月八日

○敍任及辭令

本欄敍賜ノ項ニ「七級（金三〇）旭七等」トアルハ明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ功七級金賜勳章竝ニ年金百圓及勳七等白色桐葉章ヲ授ケ賜ヒシ者又同項ニ「旭八等」トアルハ同シク勳八等白色桐葉章ヲ授ケ賜ヒシ者ナルモ叙勳取消ニ渉ルヲ以テ其要時ノミヲ掲ク其他皆此例ニ倣フ

敍賜勳等	陸軍官等位勳功爵	氏名
○明治三十八年十二月二十七日		
旭八等	歩兵一等卒	木村　重太郎
○明治三十九年二月五日		
旭八等	歩兵上等兵	小林　四郎
○明治三十九年一月三十日		
旭八等	歩兵一等卒	森山　彦十郎
○明治三十九年三月十一日		
旭八等	歩兵一等卒	植田　善七
○明治三十九年二月二十七日		
旭八等	輜重輸卒	三井　芳太郎
○明治三十八年九月二十一日		
旭八等	歩兵一等卒	桑原　槌松
○明治三十八年十二月三十日		
旭八等	元帥輜重輸卒	原　政太郎
○明治三十八年十一月二十二日		
旭八等	輜重輸卒	石山　定治
○明治三十九年三月二十五日		
旭八等	騎兵一等卒	稻垣　自平
○明治三十八年三月十日		
旭八等	歩兵二等卒	加藤　長次郎
敍賜功勳勳等	陸軍官等位勳功爵	氏名
○明治三十七年十月二十六日		
七級（金三〇）旭七等	工兵軍曹	阿利　榮太郎
○明治三十八年三月六日		
七級（金三〇）旭八等	歩兵上等兵	佐藤　幸島
○明治三十八年四月三日		
七級（金三〇）旭八等	工兵一等卒	大野　傳三郎
○明治三十八年八月十三日		
七級（金三〇）旭八等	工兵上等兵	大西　利三郎
敍賜勳等	陸軍官等位勳功爵	氏名
○明治三十八年五月四日		
旭八等	歩兵一等卒	吉倉　利之助
○明治三十九年二月十三日		
旭八等	歩兵一等卒	後藤田　佐市

付録
官報第八千五百四十一號附錄　明治四十四年十二月八日
85411

○叙任及辭令

本欄叙勲ノ項ニ勲八等ニ叙スルハ明治三十八年勅令第百九十一號ニ依リ勲八等ニ叙セラルルモノヲ以テ其叙勲ノ項ニ單ニ「五〇」トアルハ同シク金五十圓ヲ賜ヒタルモノヲ以テ其叙勲ノ項ニ「賜金」ト稱スルハ同年勅令第百九十一號ニ依リ賜金